

令和8年度

シラバス

2年生(第24期生)



徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校

看護科

年度当初の予定ですので、内容や時期が変更されることがあります

令和8年度 (国語) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|----|------|---|-----|----|--------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 国語表現 | 単位数 | 3単位 | 学年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 国語表現(東京書籍) | | 副教材 | 論読現代文2 高校生必修語彙ノート 看護学生のための基礎からはじめる国語ドリル | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査、課題テスト、小テスト、週課題、表現活動や提出物の内容 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物の内容(宿題、レポート等)、表現活動への取り組み ※実習等の授業時数により、学習内容・時期が変更されることがあります | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---------------|-----------------------|------|--|
| 1 学期 | 4 ・5 ・6 | 表現の窓①②③ | 25 | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【知識・技能】 ・言葉で表現することに意欲を持ち、積極的に表現活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | 分かりやすく説明しよう | | <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【知識・技能】 ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えている。【思考・判断・表現】 ・相手に応じて適切な表現することに意欲を持ち、積極的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 6 ・7 | 身体で表現しよう 表現の窓④ | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【知識・技能】 ・目的や意図に応じて、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。【思考・判断・表現】 ・伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを工夫し、意欲的に学習に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | 「問い」を考えよう(電話・メール・手紙) | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【知識・技能】 ・自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。【思考・判断・表現】 ・さまざまな通信方法の特徴や活用法について興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| 2 学期 | 9 | 「自分」を表現しよう 表現の窓⑥ | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。【知識・理解】 ・相手や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【知識・理解】 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・言葉を通して他者や社会に関り、自己理解を深め、さらに表現を工夫しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 10 ・11 | 論理的な文章を書こう 表現の窓⑦ | 25 | <ul style="list-style-type: none"> ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。【知識・技能】 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 12 | 話し合う力をつけよう(ファシリテーション) | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。【思考・判断・表現】 ・話し合いをよりよく進めることに興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |

| | | | | |
|-------------|---------|----------------------------|----|---|
| 3 学 期 | 1 ・2 | 「問い」を考えよう(インタビュー) 表現の窓⑤ | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【知識・技能】 ・視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出ししたりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。【思考・判断・表現】 ・他者の思いや考え方に興味を持ち、自己を向上させようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 3 | 表現の窓⑧⑨ | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定した論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。【思考・判断・表現】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |

令和8年度 地理歴史科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|--------|------|-------------|-----|--------|--------|
| 教科 | 地理歴史科 | 科 目 | 歴史総合 | 単 位 数 | 2単位 | 学 年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 詳述歴史総合 新訂版(実教出版) | | 副教材 | | | | |
| 評価方法 | 小テスト、定期考査、課題テストなど【知識・技能】 定期考査、課題レポート、ノート【思考・判断・表現】 活動の様子の観察、口頭発表、週課題レポートなど【主体的に学習に取り組む態度】 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|-------------|--------------|---------------------|---|---|
| 1 学期 | 4 | 歴史の扉 | 5 | 資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、日や日本周辺地域及び世界の歴史との関連性について考察しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | 第1章 近代化への胎動 | | |
| | | 1 ヨーロッパの海外進出と市民社会 | | |
| | | 2 清の繁栄 | | |
| | | 3 江戸時代の社会と生活 | | |
| | 5 6 | 4 東アジア諸国間の貿易 | 15 | 18世紀のアジアの経済と社会について理解している。【知識・技能】 |
| | | 第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成 | | |
| | | 5 イギリス産業革命 | | |
| | | 6 アメリカ独立革命 | | |
| | | 7 フランス革命とナポレオン | | |
| | | 8 ウィーン体制 | | |
| | | 9 1848年の革命 | | |
| | | 10 イタリア・ドイツの統一 | | |
| | 7 | 11 東方問題と19世紀のロシア | 5 | 工業化と世界市場の形成について理解している。【知識・技能】 欧米の市民革命や国民統合の動向について理解している。【知識・技能】 |
| | | 12 アメリカの発展と分裂 | | |
| | | 13 世界市場の形成 | | |
| | | 第3章 アジアの変容と日本の近代化 | | |
| | | 14 イスラーム世界の改革と再編 | | |
| | | 15 南アジア・東南アジアの改革と再編 | | |
| 16 アヘン戦争の衝撃 | | | | |
| 7 | 17 揺らぐ幕藩体制 | 5 | 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響に着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関係付けるなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考・判断・表現】 | |
| | 18 開国 | | | |
| | 19 幕末政局と社会変動 | | | |
| | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|-----------------|---|----------------------|----------|--|
| 2 学期 | 9 | 20 新政府の成立と諸改革 | 8 | 明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【知識・技能】 |
| | | 21 富国強兵と文明開化 | | |
| | | 22 近代的な国際関係と国境・領土の確定 | | |
| | | 23 自由民権運動の高まり | | |
| | | 24 立憲国家の成立 | | |
| | | 第4章 帝国主義の時代 | | |
| | | 25 帝国主義と世界分割 | | |
| | | 26 日清戦争 | | |
| | | 27 日露戦争から韓国併合へ | | |
| 28 日本の産業革命と社会問題 | 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【知識・技能】 | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|--------------|--------------------|-----------------------------------|------|---|
| 2 学期 | 10 | 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 | 7 | |
| | | 30 緊迫する国際関係 | | 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。【知識・技能】 |
| | | 31 第一次世界大戦 | | |
| | | 32 ロシア革命とシベリア出兵 | | |
| | | 33 大戦景気と米騒動 | | 第一次世界大戦の性格と惨禍、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。【思考・判断・表現】 |
| | | 34 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 | | |
| | | 35 西アジア・南アジアの民族運動 | | |
| | 36 東アジア・東南アジアの民族運動 | | | |
| | 11 | 37 戦間期の欧米 | 8 | |
| | | 38 ひろがる社会運動と普通選挙の実現 | | |
| | | 39 政党内閣の時代 | | |
| | | 第6章 経済危機と第二次世界大戦 | | 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策を基に、国際協調体制の動揺を理解する。 【知識・技能】 |
| | | 40 世界恐慌 | | |
| | | 41 ファシズムの時代 | | |
| | | 42 満州事変と軍部の台頭 | | |
| | 43 日中戦争 | | | |
| | 12 | 44 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 | 4 | 第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考・判断・表現】 |
| 45 戦争と民衆 | | 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 | | |
| 46 敗戦 | | | | |
| 47 国際連合と戦後世界 | | 【知識・技能】 | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|-------------|---------------------|-------------------|------|--|
| 3 学期 | 1 | 48 戦後と占領の始まり | 9 | 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考・判断・表現】 |
| | | 49 民主化と日本国憲法 | | |
| | | 50 冷戦の開始 | | |
| | | 51 朝鮮戦争と日本 | | |
| | | 第7章 冷戦と脱植民地化 | | |
| | | 52 冷戦対立の推移 | | 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。 |
| | | 53 植民地の独立と第三世界の出現 | | |
| | | 54 米ソ両陣営の動揺 | | 【知識・技能】 |
| | 55 日本の国際社会復帰と高度経済成長 | | | |
| | 2 | 第8章 多極化する世界 | 4 | |
| | | 56 石油危機と世界経済 | | 世界経済の拡大と経済成長下の日本社会を理解している。【知識・技能】 |
| | | 57 緊張緩和から冷戦終結へ | | |
| | | 58 地域協力の進展 | | |
| 59 日本の経済大国化 | | | | |

| | | | |
|---|-----------------|---|-------------------------------------|
| 3 | 第9章 グローバル化と現代世界 | 5 | |
| | 60 冷戦体制の終結 | | 地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト |
| | 61 地域紛争と世界経済 | | 連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 |
| | 62 現代世界のへん | | グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、間を表現できる。 |
| | 63 グローバルな認識へ | | 【思考・判断・表現】 |

令和8年度 (数学)科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|--------|-------------|----------------------|-----|--------|--------|
| 教科 | 数学科 | 科 目 | 数学Ⅱ | 単 位 数 | 3単位 | 学 年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 新編 数学Ⅱ(数研出版) | | 副 教 材 | Study-Up ノート 数学Ⅱ(数研) | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査、課題テスト、小テスト、週課題、提出物(宿題・課題研究等) 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物(宿題・課題研究等)、探究活動への取り組み | | | | | | |

s

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|---------|---------|--------------|----------|--|
| 1 学期 | 4月 | 式と計算 | 7 | 3次式の展開・因数分解公式を使うことができる |
| | 5月 | | | 整式の割り算ができる 分数式の四則計算ができる |
| | | 等式・不等式の証明 | 8 | 恒等式を理解している 等式、不等式の証明ができる |
| | 6月 | 複素数と2次方程式の解 | 8 | 複素数の四則計算ができる 複素数の範囲で2次方程式が解ける 判別式を理解している 解と係数の関係を理解し、使うことができる |
| | 7月 | | | 高次方程式 |
| | 2 学期 | 9月 | 図形と方程式 | 8 |
| 10月 | | 円の方程式を理解している | | |
| 11月 | | 軌跡と領域 | 6 | 軌跡を求めることができる 不等式の表す領域を描くことができる |
| | | 三角関数 | 10 | 一般角と弧度法を理解している 三角関数のグラフの性質を理解し描くことができる |
| 12月 | | 指数関数 | 10 | 有理数指数の累乗を理解し、累乗計算ができる 指数関数のグラフの性質を理解し描くことができる |
| 3 学期 | | 1月 | 対数関数 | 10 |
| | 2月 | 微分係数と導関数 | | |
| | | 関数の値の変化 | 10 | 増減表により関数のグラフをかくことができる 関数の最大値・最小値を求めることができる |
| | 3月 | 積分法 | 10 | 不定積分、定積分の計算ができる 直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる |

令和8年度 理科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|----|------|------------------------|-----|----|--------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 化学基礎 | 単位数 | 3単位 | 学年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 化学基礎 新訂版(実教出版) | | 副教材 | アクセスノート 化学基礎 改訂版(実教出版) | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査、課題テスト、小テスト、週課題、作問学習、提出物(宿題、実験レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物(宿題、実験レポート、振り返りシート)、作問学習 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|--------|--|------|---|
| 1 学期 | 4 | 序章 物質と化学 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会を支える物質やその利用に関心を持ち、物質の取り扱い方や人間生活における役割を探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の性質に注目し、それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。【知識・技能】 |
| | 4 5 | 1章 物質の構成 1節 物質の探究 1 物質の分類と性質 2 物質と元素 3 物質の三態と熱運動 | 13 | <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。【知識・技能】 ・物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 ・粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解し、物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | 5 | 2節 物質の構成粒子 1 原子の構造 2 イオンの生成 3 元素の周期表 | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・物質が原子から成り立っていることを理解する。また、原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現する。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを推論・理解できる。また、同位体についての正しい知識を身につけている。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。また、元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつけられていることを理解することができる。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 6 7 | 2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 1 イオン結合とイオン結晶 2 イオン結合からなる物質 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることを理解している。【知識・技能】 ・イオン結合でできた物質に共通する性質について、推論することができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・イオン結合でできた物質の性質について探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|--|------|---|
| 2 学期 | 9 | 2節 共有結合と分子間力 1 共有結合と分子 2 分子間力と分子結晶 3 共有結合からなる物質 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合を電子配置と関連づけて理解することができる。また、配位結合について理解している。【知識・技能】 ・分子の電子式・構造式を書くことができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・分子に働く力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。【知識・技能】 ・分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 |

| | | | | |
|-------------|----------------|--|----|---|
| 2 学 期 | 10 | 3節 金属結合 1 金属結合と金属結晶 2 金属 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解し、電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解している。【知識・技能】 身近な金属の色や性質、電気や熱の伝導度について観察したり、調べたりする技能を習得している。【思考・判断・表現】 どのように金属元素どうしが結びついているのかについて探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | 4節 化学結合と物質 1 結晶の分類 2 化学結合と身の回りの物質 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> 1～3節で学習した化学結合の種類を系統だてて理解している。【知識・技能】 1～3節で学習した化学結合について、特徴を比較しながら表現することができる。【思考・判断・表現】 身近な物質を化学結合の種類と結び付けて考えることができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 10 11 12 | 3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 1 原子量と分子量・式量 2 物質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式 | 22 | <ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量と物質量の関係を論理的・分析的・包括的に理解できているとともに、物質量を用いた基本的な計算ができる。【知識・技能】 化学式が使用できるとともに、原子量・分子量・式量・物質量の知識を身につけている。【知識・技能】 物質量と気体の体積の関係を理解している。【知識・技能】 モル濃度が、溶液の体積と溶質の物質量との関係を表していることを理解し、質量パーセント濃度とモル濃度の違いを表現することができる。【思考・判断・表現】 溶液の濃度の表し方について探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 基本的な化学式、化学反応式を書く技能を習得し、的確に表現する。【知識・技能】【思考・判断・表現】 反応式の係数が、物質量の比を表していることを見出すことができる。【思考・判断・表現】 いろいろな物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|----|--------|---|------|--|
| 3 | 1 2 | 2節 酸と塩基 1 酸と塩基 2 酸と塩基の分類 3 水素イオン濃度とpH 4 中和反応と塩 | 20 | <ul style="list-style-type: none"> 酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基の反応を捉えることができる。【知識・技能】 酸・塩基の化学式や酸・塩基の反応を通して、酸と塩基の共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解できる。【知識・技能】 酸・塩基の価数・強弱の関係を理解し、電離度に関連付けて考察することができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 酸性、塩基性の程度とpHの関係を理解し、pHの指標の便利さと実用性を理解している。また、pH試験紙でいろいろな溶液や身近な物質のpHを測定する技能を修得し、さまざまな酸・塩基の強弱について考察することができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 中和反応における量的関係を理解している。また、メスフラスコ、ビュレット、ホールピペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を実験で求める技能を修得している。【知識・技能】【思考・判断・表現】 酸・塩基はどのような物質であるか探究するとともに、酸性、塩基性の程度を表す方法を探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 3 | 3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元 4 酸化還元反応の応用 | 15 | <ul style="list-style-type: none"> 酸化・還元の定義を理解し、酸化と還元が同時に起こることを理解している。また、酸化数の定義を理解し、これらの定義を適用できる反応を見出すことができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 身近な現象と酸化還元反応を関連付けることができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 酸化剤・還元剤について理解し、酸化反応・還元反応で起こるイオン反応式を書くことができる。また、イオン反応式から反応全体の化学反応式を導くことができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 酸化還元反応の量的関係を理解している。【知識・技能】 金属のイオン化傾向を、酸化還元反応と関連付けて理解している。【知識・技能】 酸化還元反応に関心を持ち、電子の授受という観点から化学反応をとらえ、意欲的に探究しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 |

令和8年度 (保健体育) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|----|-----|-----|-----|----|--------|
| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 | 単位数 | 3単位 | 学年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 現代高等保健体育(大修館) | | 副教材 | | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】実技テスト・ワークシート・課題 【思考・判断・表現】授業での取り組み方 【主体的に学習に取り組む態度】授業での取り組み方・出席状況 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|------------|-----|------------------------------------|------|--|
| 1 学期 | 4・5 | 集団行動 | 9 | 集団行動のおこない方を身につけ、効率的に行動しようとしている。 |
| | | 体づくり運動 | | 心と体は互いに影響し合っていることや心身の状態について理解しようとしている。 |
| | | 体育理論(運動・スポーツの学び方) | | 仲間と主体的に取り組もうとしている。 |
| | 6・7 | 球技(バレーボール) | 26 | 運動・スポーツの学び方について理解しようとしている。 |
| 球技(バトミントン) | | 学習に自発的に取り組もうとしている。 | | |
| | | 状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 | | 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 |
| | | チームや自己の課題を解決しようとしている。 | | |
| | | ラケットの操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 | | 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 |
| | | チームや自己の課題を解決しようとしている。 | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|----|------------------------------------|------|--|
| 2 学期 | 9 | 体づくり運動 | 13 | 心と体は互いに影響し合っていることや心身の状態について理解しようとしている。 |
| | | 体育理論(運動・スポーツの学び方) | | 学習に主体的に取り組もうとしている。 |
| | | ダンス | | 運動・スポーツの学び方について理解しようとしている。 |
| | 10 | 球技(卓球) | 15 | 学習に自発的に取り組もうとしている。 |
| | | 互いに共感し、高め合い、合意形成に貢献しようとしている。 | | 主体的に取り組むとともに、各自に応じた表現を大切にしようとしている。 |
| | | ラケットの操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 | | |
| | | 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 | | |
| | | チームや自己の課題を解決しようとしている。 | | |
| | | 状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 | | |
| | | 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 | | |
| | | チームや自己の課題を解決しようとしている。 | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|----------|------------|------|--------------------------------------|
| 3 学期 | 1 | 陸上競技(長距離走) | 6 | 各人に応じた課題を設定し、取り組もうとしている。 |
| | 1・2 3 | 球技選択(サッカー) | 18 | 作戦や状況に応じた技能で攻防をしようとしている。 |
| | | | | フェアなプレーを大切にしながら、仲間と協力しゲームを展開しようとしている |
| | | | | 主体的に取り組もうとしている。 |

令和8年度 (外国語) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|--------|--------------|------------------|-----|--------|--------|
| 教科 | 外国語科 | 科 目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単 位 数 | 2単位 | 学 年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | MY WAY English Communication Ⅱ (三省堂) | | 副 教 材 | 英単語ターゲット1200 旺文社 | | | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査【知識・技能】【思考・判断・表現】・小テスト【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 ・発表【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・ペアワーク、グループワークの観察【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物(宿題、英作文)【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|---------|-------------|---|----------|--|
| 1 学期 | 4 5 | Lesson1 Dances Around the World SVO(O=that/what節) / SVO(O=if/whether節) / SVO1O2 (O2=if/that/what節) ダンス、比較文化 / レポート・学校生活 | 12 | <p>海外からの友人に紹介したい日本の踊りについて、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)</p> <p>世界各地のさまざまなダンスの起源について理解を深めるために、世界各地のダンスについて書かれたレポートを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)</p> <p>海外からの友人に紹介したい日本の踊りについて、多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(話すこと・やりとり)</p> |
| | 5 6 7 | Lesson2 Katsura Sunshine—Making the World Laugh 形式主語のit / 形式目的語のit① / 形式目的語のit② 学校生活 | 15 | <p>海外からの旅行者に紹介したい日本文化について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)</p> <p>怪二碑さんの落語についての考え方や取り組み方について理解を深めるために、怪二碑さんへのインタビューのスク립トを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)</p> <p>海外からの旅行者に紹介するために、紹介したい日本文化について、その印象や特徴などを、グループで話し合った内容を基に詳しく話して伝えている。(話すこと・発表)</p> <p>買い物で失敗した経験について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができるか。(書くこと)</p> <p>ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいるか</p> |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|---------|----------|--|----------|---|
| 2 学期 | 9 10 | Lesson3 Living with Nature —Takita Asuka's Journey 現在完了形・現在完了進行形 / 過去完了形 / 過去完了進行形 共生、平和 / 講演・学校生活 | 14 | <p>絶滅の危機にある動植物の現状について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)</p> <p>滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動について理解を深めるために、滝田明日香さんの講演のスク립トを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)</p> <p>絶滅の危機にある動植物の現状について、多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるか。(話すこと・やりとり)</p> <p>ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいるか。</p> |
| | 11 12 | Lesson4 Sesame Street SVOC(V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC(V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC(V=使役動詞have/make、C=過去分詞) / help+O+動詞の原形 多様性、異文化 / 雑誌記事・学校生活 | 15 | <p>紹介したいセサミストリートのキャラクターについて、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)</p> <p>『セサミストリート』に込められたメッセージについて理解を深めるために、セサミストリートについて書かれた雑誌記事を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)</p> <p>セサミストリートを見たことがない子どもに紹介するために、紹介したいキャラクターについて、その特徴的な行動や子どもたちへの影響などを、グループで話し合った内容を基に詳しく話して伝えることができるか。(話すこと・発表)</p> |

活

多様性を感じるタイミングについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができるか。(書くこと)

ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいるか。

| | | | |
|-------------|-------------|--|--|
| 3 学 期 | 1 2 3 | <p>Lesson5 From Landmines to Herbs</p> <p>関係代名詞(主格) / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法</p> <p>平和、異文化 / 雑誌記事・地域での生活</p> | <p>14</p> <p>加してみたい国際ボランティア活動について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)</p> <p>篠田ちひろさんのカンボジアでの活動について理解を深めるために、篠田さんの活動について書かれた雑誌記事を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)</p> <p>訪れたい世界遺産について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができるか。(書くこと)</p> <p>参加してみたい国際ボランティア活動について、多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるか。(話すこと・やりとり)</p> |
|-------------|-------------|--|--|

令和8年度 家庭科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|----|------|--------------------------|-----|----|--------|
| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | 2単位 | 学年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 家庭基礎 明日の生活を築く(開隆堂) | | 副教材 | ライブビュー家庭科 資料+食品成分表(東京書籍) | | | |
| 評価方法 | 定期考査、実習及び実技テストなど【知識・技能】 定期考査、課題レポート、ホームプロジェクトなど【思考・判断・表現】 活動の様子を観察、学校家庭クラブ活動への参加など【主体的に学習に取り組む態度】 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|---|---------------------|--|
| 1 学期 | 4 | 「家庭基礎の学習について」 1 人生を見通し、共に生きる (1) 青年期の自立と家族・家庭 ① これからの自分の人生 ② 青年期の自立 ③ 人生の課題と意思決定 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴と課題について考え、理解している。【知識・技能】 ・男女の社会的役割について理解し、青年期をどのように生きるか具体的に考えることができる。【思考・判断・表現】 ・将来の自分の家族を想定し、男女が相互に協力して家庭を築くことの必要性について、自分の考えをまとめ表現することができる。【思考・判断・表現】 ・生活課題の解決に向けて必要な情報を収集・整理し、自らが主体的に意思決定し、責任を持って行動することの重要性がわかる。【知識・技能】 |
| | 5 | 2 生活を営み、自立する (1) 食事と健康 ① 栄養と食事 ② 食品と調理 | 16 | <ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関心をもち、青年期と家族の各ライフステージの栄養的特徴を理解している。【知識・技能】 ・日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的に理解している。【知識・技能】 |
| | 6 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を振り返り、現代の食生活の傾向と問題点、食事と健康の関わりについて考え、まとめたり発表したりできる。【思考・判断・表現】 ・調理実習を通して、食生活に必要な基礎的な調理技術を身に付けている。【知識・技能】 ・食品の選択と衛生について関心をもち、必要な知識をと技術を身に付けている。【知識・技能】 ・資源・エネルギーに配慮した食生活のあり方について、課題解決に向けて具体的に考え、工夫しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | 7 | ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | 3 |
| | 8 | ホームプロジェクトの実践 | | (夏季休業中に実践した研究内容を9月に発表) |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|---|------|--|
| 2 学期 | | ホームプロジェクト発表会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトを通して、生活上の課題を見だし、その解決を目指して、科学的に探求し、わかりやすく表現している。【思考・判断・表現】 ・計画に沿って実践できている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 9 | 1 人生を見通し、共に生きる (3) 高齢期を見通す ① 高齢期の生活と課題 ② 高齢者と関わる ③ 高齢社会を生きる | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が社会の一員として自立した生活を送ることの重要性を理解し、人生を全うするためにどのような支援ができるか考え、まとめたり、発表したりできる。【思考・判断・表現】 ・高齢者の身体的特徴と心理的特徴の概要を理解している。【知識・技能】 ・高齢者や高齢者を取り巻く社会の課題について具体的に考えている。【思考・判断・表現】 ・学習内容に関心をもち積極的に高齢者と関わるができる。【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活の課題や生きがいについて考えをまとめたり発表したりできる。【思考・判断・表現】 ・高齢者の福祉に関する基礎的な知識を身に付けている。【知識・技能】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|----|---|------|--|
| 2 学期 | 10 | 1 人生を見通し、共に生きる (4) 共生社会と福祉 ① 家族・家庭と社会的支援 ② 共生とコミュニティ | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の重要性について理解し、共生社会における家庭や地域の一人として主体的に行動しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の住んでいる地域のコミュニティ活動等について、必要な情報を収集・整理することができる。【知識・技能】 ・共生社会を作っていくために社会の一人として自分に何ができるかを考え、工夫しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 11 | 2 生活を営み、自立する (4) 生涯の経済計画 ① 生活に必要な費用と管理 ② 将来を見通した経済計画 (5) 消費者としての自立と社会参加 ① 社会の変化と消費者問題 ② 消費者の権利と責任 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した経済計画について考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ・家計と経済社会との関わりを理解している。【知識・技能】 ・生涯を見通した経済計画の重要性を理解している。【知識・技能】 ・財・サービスに関する正確な情報を入手するために、生活情報の特徴や課題について考え、工夫している。【思考・判断・表現】 ・消費者の権利や消費者支援の制度に関心をもち、消費者保護の施策、消費者の権利と責任について理解している。【知識・技能】 ・消費生活に関する情報を収集・整理し、生活の質の向上にはどのような消費生活を築けばよいか考え、工夫している。【思考・判断・表現】 |
| | 12 | (6) ライフスタイルと環境 ① 消費生活と環境とのかかわり ② 持続可能な社会に向けて | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・消費社会の現状と持続可能な消費の重要性について理解している。【知識・技能】 ・持続可能な消費行動について考え、自らの生活を振り返り改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|--|------|---|
| 3 学期 | 1 | 1 人生を見通し、共に生きる (2) 次世代を育む ① 子どもとかかわる ② 子どもの育つ環境 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全な発達を支える親やまわりの大人の役割について考え、まとめたり、発表したりできる。【思考・判断・表現】 ・子どもの発達や生活の概要を理解している。【思考・判断・表現】 ・子どもや子どもを取り巻く社会の課題について具体的に考えている。【思考・判断・表現】 ・子どもの発達と遊びや環境との関わりについて理解している。【知識・技能】 ・遊びの意義や児童文庫の子どもへの影響について考えをまとめたり発表したりできる。【思考・判断・表現】 ・子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。【知識・技能】 ・子どもの権利や福祉について、必要な情報を収集・整理することができる。【知識・技能】 |
| | 2 | 2 生活を営み、自立する (2) 被服の管理と着装 ① 被服の機能と着装 ② 被服の管理と計画 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の管理に必要な情報を収集・整理することができる。【知識・技能】 ・高校生の着装に関心をもって学習に取り組み、被服の社会的機能を活かした青年期の着装について工夫しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について科学的に理解している。【知識・技能】 ・被服の入手、洗濯、保管など衣生活の管理ができる。【知識・技能】 ・被服材料、被服の構成、サイズの適切な選択について考え工夫している。【思考・判断・表現】 |
| | 3 | (3) 住居と住環境 ① ライフステージと住まい ② 快適で安全な住まい ③ 住まいの環境 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・住生活の計画に必要な情報を収集・整理することができる。【知識・技能】 ・ライフスタイルや価値観に応じた適切な住居の主体的な選択について考え、工夫している。【思考・判断・表現】 ・居住環境と住環境について理解し、安全性、保健性、利便性、快適性、持続可能性などの面からよりよい住環境について考えている。【思考・判断・表現】 ・地域コミュニティとの関わりや気候風土に応じた住まい方など、住居の文化的側面を理解している。【知識・技能】 |

令和8年度 (看護) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|----|------|------------------------|-----|----|-------|
| 教科 | 看護 | 科目 | 基礎看護 | 単位数 | 3単位 | 学年 | 看護科2年 |
| 教科書 | 基礎看護(実教出版) | | 副教材 | 系統看護学講座 専門 基礎看護技術 I・II | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】小テスト、定期考査、週課題・授業への取り組み(関心・意欲・態度)、実技テスト、演習、グループワーク、実技テスト 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み、ワークシート、課題提出内容、演習、探求活動への取り組み、看護科目確認テスト、課題テスト | | | | | | |

| 学期 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|-----------------|--------------------------|--|--|
| 1 学期 | 看護の共通技術 (フィジカルアセスメント) | 6 | ヘルスアセスメントがもつ意味について理解している。【知識・技能】 |
| | | | フィジカルアセスメントの意義について理解している。【知識・技能】 |
| | | | フィジカルアセスメントに必要な技術を身に付けている。【知識・技能】 【思考・判断・表現】 |
| | | | 身体診査について演習をし基本的技術を身に付けようとしている。【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 診療に伴う援助 (創傷管理) | 3 | 創傷の治癒に必要な基礎知識を理解している。【知識・技能】 |
| | | | 創傷治癒のためにはどのような環境がよいかを考え、創傷治癒を促進させるためにはどのような援助が必要なのか、探求することができる。【思考・判断・表現】 |
| | | | 創洗浄・創保護の目的や方法を理解する。【知識・技能】 テープによる皮膚障害について理解し、テープやフィルムの剥がし方について演習する。【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | 巻軸帯、三角巾を用いた上肢の固定方法や包帯法について、目的や留意点を考えて実施することができる。【知識・技能】 【思考・判断・表現】 |
| | 日常生活の援助 (睡眠と休息の援助) | 2 | 睡眠と休息についての基礎知識について理解している。【知識・技能】 |
| | | | 睡眠・休息の意味と看護者の役割について考察し援助方法を見いだしている。【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| 診療に伴う看護 (与薬) | 24 | 与薬の基礎知識や薬物の適切な管理や取り扱い方法と看護師の役割について理解している。【知識・技能】 | |
| | | 内服薬の種類、経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬の援助の基礎知識や技術を身に付けている。【知識・技能】 【思考・判断・表現】 | |
| | | 注射の基礎知識を理解しているとともに実施方法について身に付けている。【知識・技能】 | |
| | | 注射の実施(清潔操作、アンプルからの吸引、バイアルからの吸引、皮下注射、筋肉内注射、点滴静脈内注射)について、目的や注意点を理解し、清潔かつ安全に行う援助方法を見だし実践し取り組もうとしている。【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 | |
| | | 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いを理解している。【知識・技能】 | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|--------------|---|------|---|
| 2 学期 | 9 10 | 日常生活と援助 (食事と栄養) | 12 | 対象の栄養状態や摂取能力のアセスメントをするための基礎的知識を身につけることができる。【知識・技能】 |
| | | | | 食欲や摂食・嚥下のメカニズムを理解し、食事の意味や食事に影響を及ぼす心身の状態を演習を通して考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 食事介助の具体的な方法を学び、安全と安楽を考えた食事の援助を演習を通して考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 経口的な栄養摂取が行いにくい場合の摂食嚥下訓練の方法にをすることができる。【知識・技能】 |
| | | | | 非経口的栄養摂取の援助の概略について理解し、演習を通して経鼻経管栄養方法について理解し、経鼻経管栄養中の対象の状態や看護について探求することができる。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 10 11 | 日常生活の援助 (排泄の援助) | 20 | 排泄の意義とメカニズムについて理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 排泄に影響を与える因子を理解し、援助を行うにはプライバシーや羞恥心への配慮が重要性であり、そのための援助について探求することができる。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | | 排泄障害について発生原因を理解し、障害の程度に応じた援助について演習を通して考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | 11 | 以下の項目を、演習を通して方法を学び、排泄援助について自ら探求することができる。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 おむつ交換・陰部洗浄・浣腸・導尿・便器・尿器の使用 | | |
| | 12 | 診療に伴う援助 (呼吸・循環・体温調節【罨法】) | 3 | 罨法・保温の種類と目的について理解し、安全で効果的な方法を身に付けている【知識・技能】 安全と安楽を重視した援助について考察している【思考・判断・表現】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|-------------------|------|--|
| 3 学期 | 1 | 看護の共通技術 (看護過程) | 16 | 看護過程の5つの構成要素や関係性について理解している。【知識・技能】 |
| | 2 | | | 情報の種類や情報収集の枠組み、情報収集の方法について理解している。【知識・技能】 |
| | 3 | | | 情報が持つ意味を考え分析し取り組もうとしている【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 |

令和8年度 (看護)科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|----|--------------|-----|-----|----|--------|
| 教科 | 看護科 | 科目 | 人体の構造と機能(栄養) | 単位数 | 1単位 | 学年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学(ナーシング・グラフィカ) | | 副教材 | | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】小テスト、定期考査、提出物、グループワーク 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み、グループワーク、探求活動への取り組み、課題テスト、提出物の内容・提出期限 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|------------|---|---|---|
| 1 学期 | 4 | ア 栄養素の働き 1. 臨床栄養学の意義と看護 2. 栄養とは | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・臨床栄養学の看護の活用の目的・意義を理解できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・栄養と栄養素について義を理解できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | 5 | 1)たんぱく質 2)脂質 3)炭水化物 4)ビタミン 5)ミネラル 6)水 | 5 | |
| | 6 | イ 栄養素と代謝 1. 栄養素の代謝 (1)たんぱく質 2)脂質 3)炭水化物 2)各栄養素の欠乏症/過剰症 3)日本人の食事摂取基準 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・食物の消化・吸収、排泄にいたる人体の生理機能を踏まえ、各栄養素の代謝の概要を理解している【知識・技能】 ・三大栄養素の体内での代謝について理解できているか【知識・技能】 ・日本人の食事摂取基準をもとにエネルギーや各栄養素の過不足が健康に与える影響について理解し、欠乏症/過剰症について知っている【知識・技能】 |
| 7 | 4)栄養アセスメント | | <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる個人または集団の栄養状態の評価方法を知り、基本的なアセスメントができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 | |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|----------|--|------|---|
| 2 学期 | 9 | ウ 食生活と健康 1. 日常生活と栄養 1)食文化 2)運動と栄養 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・食文化の多様性について調べ、食習慣を含む食生活は精神的・社会的因子の影響が大きいことを理解できている。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 ・日々の食生活が健康に与える影響について必要な栄養素の種類や基準量、作業量に応じた摂取カロリーを理解できる。【思考・判断・表現】 ・健康の保持増進に役立つ機能を持つ食品として特定保健用食品、栄養機能食品の概要及び表示について知っている。【知識・技能】 ・食生活の現状と課題について考察できる。【思考・判断・表現】 ・食生活の課題解決のために看護師の役割について考察できる。【思考・判断・表現】また、その学習活動に主体的に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 10 | 2. 食生活の現状と課題 1)食生活指針 2)特定保健用食品、栄養機能食品 | | |
| | 11 12 | エ. ライフステージと栄養 1)乳幼児期 2)学童期 3)青年期 4)成人期 5)妊娠・授乳期 6)高齢期 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの身体的生理的特徴を踏まえ、必要な栄養について理解できている。【知識・技能】 ・各ライフステージの食生活で起こりやすい問題について事例を挙げその対処法を考察できる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|---|------|---|
| 3 学期 | 1 | オ. 病態と栄養 1. 療養生活と栄養 1)治療による回復を促すための食事と栄養管理 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事療法の基本について理解を深めることができている。また、看護師としての役割について考察できている。【思考・判断・表現】 ・疾病や障害によってエネルギーや栄養素の調節、消化管の保護等が必要な場合の栄養について基礎的内容を理解できている。【知識・技能】 |
| | 2 | 2)栄養成分別のコントロール食 3)嚥下障害のある人のための食事 4)経口摂取できない患者のための栄養管理 | 5 | |
| | 3 | 2. 病態と栄養 1)消化器系疾患 2)内分泌・代謝疾患 3)循環器系疾患 4)腎疾患 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・1)消化器系疾患 2)内分泌・代謝疾患 3)循環器系疾患 4)腎疾患の主な疾患の食事療法の基礎的内容について理解できている。【知識・技能】 ※各疾患ごとの食事療法については、各看護学の領域や専攻科での臨床栄養学に継続される。 |

令和8年度 (看護) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|----------|---|---|-----------------------|--|--------------|--------|---------|
| 教科 | 看護科 | 科 | 疾病の成り立ちと回復の促進 (薬理) | 単 位 数 | 1単位 (4単位) | 学 年 | 看護科 2 年 |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進④(医学書院) | | 副 教 材 | 系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進③(医学書院) | | | |
| 評価 方法 | 【知識・技能】定期考査 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、授業における発表、グループワーク 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み、提出物、グループワーク、探求活動への取り組み | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|-------------|---|--|----------|---|
| 1 学 期 | 4 | 第1部 薬理学総論 第1章 薬理学を学ぶにあたって | 3 | 薬物における看護師の役割について関心を持ち、考察しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 5 | 第2章 薬理学の基礎知識 A: 薬が作用するしくみ B: 薬の体内の挙動 C: 薬物相互作用 D: 薬効の個人差に影響する因子 E: 薬物使用の有益性と危険性 | 12 | 薬の作用や薬物動態について理解しようとしている。【知識・技能】 薬の相互作用にはどのようなものがあるか理解している。【知識・技能】 薬には作用の反面、副作用がある事を把握し、看護師としての役割を考えている。【思考・判断・表現】 |
| | 7 | F: 薬と法律 1学期末考査 | | 薬と法律について、把握できている。【知識・技能】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|-------------|----|--|----------|--|
| 2 学 期 | 9 | 第2部 薬理学各論 第3章 抗感染症薬 | 4 | 感染症治療薬にはどのようなものがあるか把握している。【知識・技能】 それぞれの特徴、違いを理解している。【知識・技能】 |
| | 10 | 第6章 抗アレルギー薬・抗炎症薬 | 3 | 非ステロイド性抗炎症薬とステロイド性抗炎症薬の作用など、その特徴を理解している。【知識・技能】 |
| | 11 | 第7章 末梢での神経活動に作用する薬物 | 2 | 自律神経および交感神経、副交感神経について既習の知識と照らし合わせ、その薬の特徴などを把握できている。【知識・技能】 |
| | | 第6章 中枢神経系に作用する薬物 | 2 | 全身麻酔薬について、既存の知識をもとに、理解を深めている。【知識・技能】 |
| | 12 | 第9章 循環器系に作用する薬物 A: 降圧薬 B: 狭心症治療薬 2学期末考査 | 4 | 既習の疾患について、その病態から復習でき、治療薬に対する理解を深めようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 看護師としての役割について考察しようとしている。【思考・判断・表現】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|----|---|---|------|---|
| | | C:心不全治療薬 | 1 | 他科目で学んだ知識を整理し、心不全の治療について理解を深めている。【知識・技能】 |
| | | 第8章 呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物 A:呼吸器系に作用する薬物 B:消化器系に作用する薬物 | 3 | 呼吸の解剖・生理から復習し、それらの作用, 副作用を理解し、必要な観察を考えようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 消化潰瘍治療薬について理解し、必要な援助について考えている。【思考・判断・表現】 |
| | 3 | 学年末考査 | 1 | |

令和8年度 (看護) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|----|-----------------------|---|----------------|----|-------|
| 教科 | 看護 | 科目 | 疾病の成り立ちと回復の促進 (病理) | 単位数 | 0.5単位 (4単位) | 学年 | 看護科2年 |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門基礎 微生物学(医学書院) | | 副教材 | 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進(1) 病理学 (医学書院) | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、レポート 【主体的に取り組む態度】 小テスト、課題、授業における意見発表、グループワークへの参加・貢献 | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|--------|--|------|--|
| 1 学期 | 4 | 第1部 病理学総論 第1章 病理学で学ぶこと 看護と病理学 病気の原因 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・病気、病理学の意味を理解している。【知識・技能】 ・病気の外因と内因の主要な因子を理解している。【知識・技能】 ・看護において病理学を学ぶ意義を理解し、健康や疾患と関連づけ、学びを深めようとしている。【思考・判断・表現】【主体的態度】 |
| | 5 6 | 第2章 細胞・組織の損傷と修復、炎症 細胞・組織の損傷と適応 細胞・組織の損傷に対する反応 炎症の分類と治療 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・細胞・組織の損傷とその原因を理解している。【知識・技能】 ・細胞の適応現象・細胞死・変性を理解している。【知識・技能】 ・炎症メディエーター、炎症反応、創傷治癒について理解している。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・炎症の分類と治療について理解している。【知識・技能】 ・創傷治癒の過程を理解し、適切な創傷管理を判断できる 【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・細胞・組織の損傷や炎症についてアセスメントし、適切な看護について探究しようとしている。【思考・判断・表現】【主体的態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|--|------|---|
| 2 学期 | | 第9章 腫瘍 腫瘍の定義と分類 悪性腫瘍の広がりと影響 腫瘍発生の病理 腫瘍の診断と治療 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍、良性腫瘍と悪性腫瘍の相違点を理解している。【知識・技能】 ・上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍、がん腫と肉腫について理解している。【知識・技能】 ・悪性腫瘍の転移様式について、疾患と関連づけて理解している。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・腫瘍の発生機序と発生因子を理解している。【知識・技能】 ・悪性腫瘍のなりたちと治療について理解し、悪性腫瘍が身体に与える影響について探究しようとしている。【主体的態度】 |
| | | 第8章 先天異常と遺伝性疾患 遺伝の生物学 先天異常 遺伝子異常と疾患 疾患の診断と治療 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子、ゲノム、DNA、染色体について理解している。【知識・技能】 ・遺伝情報の伝達と変異、多様性について理解している。【知識・技能】 ・遺伝情報と遺伝情報の変化、伝達が身体に与える影響について、疾患と関連づけて理解している。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・先天性異常、遺伝性疾患のなりたちを理解している。【知識・技能】 ・遺伝子診断における倫理的課題について主体的に考え、表現している。【思考・判断・表現】【主体的態度】 |
| | | 第3章 免疫、移植と再生医療 自己免疫疾患 移植と再生医療 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・免疫の異常について理解し、免疫機構が身体への影響について考えている。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・自己免疫疾患と膠原病のなりたちと病態の理解をもとに、患者の生活への影響を考察している。【思考・判断・表現】 ・移植、再生医療と移植片対宿主病の機序を理解している。【知識・技能】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|-------------|---|------|---|
| 3 学期 | 1 2 3 | 第5章 循環障害 充血・うっ血 出血・止血 血栓・塞栓・梗塞 浮腫 ショック | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・充血・うっ血・出血・血栓・塞栓・梗塞の機序を理解している。【知識・技能】 ・それぞれの循環障害の機序を理解し、疾患と関連付けて理解している。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・循環障害の予防と回復を促す看護を探究している。【思考・判断・表現】【主体的態度】 ・ショックの定義と機序を理解している【知識・技能】 |
| | | 第12章 血液・造血器系の疾患 貧血 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・貧血の定義を理解している。【知識・技能】 ・鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血の病態と症状、主な治療について理解している。【知識・技能】 |

令和8年度 (看護) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|----|------------------------|-----|--------------|----|-------|
| 教科 | 看護 | 科目 | 疾病の成り立ちと回復の促進 (微生物) | 単位数 | 1単位 (4単位) | 学年 | 看護科2年 |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学(医学書院) | | 副教材 | | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】小テスト、定期考査、提出物、グループワーク 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み、提出物、探求活動への取り組み | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 | |
|---------|-----|-----------|------|--|--|
| 1 学期 | 4 | 微生物と微生物学 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・微生物の種類や大きさを比較したり、真核生物と原核生物の構造上の違いを理解している。【知識・技能】 ・微生物が引き起こす様々な作用に興味を持ち、微生物のはたらきがヒトの日常生活や健康維持に関わっていることを探求しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】 | |
| | 5・6 | 第2章 細菌の性質 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・細菌の細胞構造や特徴について理解している。【知識・技能】 ・細菌の芽胞・荚膜・鞭毛の果たす役割について考え、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・細菌の培養環境と栄養について理解している。【知識・技能】 ・細菌の増殖の仕方についてヒトと比較して理解している。【知識・技能】 | |
| | | | | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスの構造について理解している。【知識・技能】 ・ウイルスの増殖の仕方について細菌と比較して考えることができる。【思考・判断・表現】 ・代表的なDNAウイルスとRNAウイルスが分かる。【知識・技能】 |
| | | | | | 7 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 | | | |
|---------|---|------------|------|---|------------------|---|--|
| 2 学期 | 9 | 第5章 感染と感染症 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染の成立・発症にいたるまでの経過について理解し、その経過について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・病原微生物の感染限と感染経路について理解している。【知識・技能】 ・生体の防御機構について興味を持ち、病原体が感染するという現象について探求することができる。【主体的に学習に取り組む態度】 | | | |
| | | | | 10 11 | 第6章 感染に対する生体防御機構 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・免疫に関わる細胞について理解し、生体に侵入してきた病原微生物がどのように排除されるのか、考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・生体の防御機構について、液性免疫と細胞性免疫について理解している。アレルギー・免疫不全の機序について理解している。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・抗体の構造について理解することができる。【知識・技能】 ・免疫グロブリンの種類とその特徴について理解している。【知識・技能】 ・ワクチンの作用と種類について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | | | | 12 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|--------|--|------|---|
| 3 学期 | 1 2 | 第12章 病原ウイルスと ウイルス感染症 第13章 病原真菌と真菌感染症 | 2 | 以下の病原ウイルス・病原真菌について、形態・感染経路・症状について理解する。【知識・技能】 ヘルペスウイルス、インフルエンザウイルス・コロナウイルス・B型肝炎ウイルス・ヒト免疫不全ウイルス、カンジダ・アルビカンス |
| | | 第7章 滅菌と消毒 | 2 | ・滅菌と消毒についての定義を理解し、滅菌方法の種類と特徴が分かる。【知識・技能】 ・おもな消毒薬の種類や用途について理解し、微生物に対する効果について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | 第9章 感染症の治療 | 3 | ・化学療法とは何かを理解し、化学療法薬の概要について理解する。【知識・技能】 ・抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬の特徴について理解し、それぞれの作用について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | 3 | 第10章 感染症の現状と対策 | 3 | 院内感染とその特徴について理解し、化学療法薬の特徴と照らし合わせながら耐性菌の特徴を考えることができる。また、感染予防について理解し実践できるように探求している。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |

令和8年度 (看護)科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|--------|-----------------------|--------------------------|----------------|--------|---------|
| 教科 | 看護科 | 科 目 | 疾病の成り立ちと回復の促進 (外科) | 単 位 数 | 0.5単位 (4単位) | 学 年 | 看護科 2 年 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進(4)微生物学 | | 副 教 材 | 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】【思判・判断・表現】定期考査, 提出物, ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み, 提出物, 探求活動への取り組み | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|---------|----|-----------------------------|----------|---|
| 2 学期 | 9 | 別巻 臨床外科看護学総論 第1章 外科医療の基礎 | 5 | 外科的治療の特徴、手術侵襲と生体の反応、炎症、感染症、創傷治癒(褥瘡は除く)について理解し、観察の視点や援助について考えようとしている【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | A 外科的治療の特徴と変遷 | | |
| | | B 手術侵襲と生体の反応 | | |
| | 10 | C 炎症 | 5 | |
| | | D 感染症 | | |
| | | E 創傷治癒(⑦褥瘡は除く) | | |
| | 11 | 第3章 外科的治療を支える分野 A 麻酔法 | 4 | 麻酔の種類、術前・術中・術後管理、全身麻酔、局所麻酔について理解し、観察の視点や援助について考えようとしている【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | 第4章 外科的治療の実際 A 外科的基本手技 | 4 | 切開、縫合、抜糸、止血、胃管の挿入、体腔穿刺について理解し、観察の視点や援助について考えようとしている【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 12 | 考査 | | |

令和8年度 (看護)科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|----|-----------------------|---|--------------|----|-------|
| 教科 | 看護 | 科目 | 疾病の成り立ちと回復の促進 (内科) | 単位数 | 1単位 (4単位) | 学年 | 看護科2年 |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進④(医学書院) | | 副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 専門 消化器 成人看護学5 ・系統看護学講座 専門 内分泌・代謝 成人看護学6 | | | |
| 評価方法 | <p>【知識・技能】 小テスト、定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査、パフォーマンス課題、レポート課題、グループワーク、発表</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 小テスト、授業・課題への取り組み、グループワークへの参加・貢献、探求活動への取り組み</p> | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|--|----------------------------|------|--|
| 1 学期 | 4 5 6 7 | 第2章 消化器の構造と機能 肝臓 胆道系 | 2 | ・肝臓の構造と機能を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・胆道、胆嚢の構造と機能を理解している。【知識・技能】 |
| | | 第5章 疾患の理解 肝炎 | 12 | ・肝炎の分類と病態生理を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・肝炎ウイルスの種類と感染様式、各症状を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・肝炎ウイルスの感染様式を踏まえ、感染予防について説明できる。【思考・判断・表現】 |
| | | | | ・急性肝炎と慢性肝炎の特徴や経過の違いを理解している。【知識・技能】 |
| | | 肝硬変症 | | ・肝硬変症の分類と病態生理を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・肝硬変症の治療と合併症について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・肝機能障害による症状の成り立ちを理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・症状や合併症のある患者に対する援助方法について考察しようとしている。【思考・判断・表現】【主体的態度】 |
| 肝(臓)がん | ・肝炎、肝硬変、肝がんの関連について理解している。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 | | | |
| | ・治療(外科的、内科的)について理解している。【知識・技能】 | | | |
| | ・治療を受ける患者の看護について考察している。【知識・技能】 | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|---|---------------------------------|------|---|
| 2 学期 | 9 10 11 12 | 第1章 医療の動向と看護 | 1 | ・内分泌器疾患を有する患者の身体・心理・社会的特徴について理解している。【知識・技能】 |
| | | 第2章 内分泌・代謝器官の構造と機能 | 1 | ・消化管・膵臓の構造と機能を理解している。【知識・技能】 |
| | | 第5章 疾患の理解 糖尿病 分類、検査、診断、治療 | 12 | ・糖尿病の疫学、社会の動向について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・糖尿病に関する社会的問題について関心を向け、スティグマを解消するための考えや行動を述べるができる。 【思考・判断・表現】【主体的態度】 |
| | | | | ・糖尿病の分類と病態生理を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・インスリン抵抗性、耐糖能について説明できる。【思考・判断・表現】 |
| | | | | ・糖尿病の検査と診断について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・血糖マネジメントについて考察できる。【思考・判断・表現】 |
| | | | | ・糖尿病の分類や検査、診断基準について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・食事療法と運動療法について理解している。【知識・技能】 |
| | ・薬物療法について理解し、効能と副作用、安全な自己管理について理解し、患者指導の方法を検討できる。【思考・判断・表現】 | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|-------------|-----------|------|---|
| 3 学期 | 1 2 3 | 糖尿病の合併症 | 7 | ・急性合併症と低血糖の病態生理について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・慢性合併症と低血糖の病態生理について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・合併症の予防と発症時の対応について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | ・慢性疾患をマネジメントしている患者や家族の生活や困難について理解を深め、看護職の支援のあり方について創造しようとしている。 【思考・判断・表現】【主体的態度】 |

令和8年度 (看護) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|-------------|--|-------------|-----|--------|--------|
| 教科 | 看護 | 科 | 成人看護 | 単 位 数 | 2単位 | 学 年 | 看護科 2年 |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護〔1〕 成人看護学総論 | 副 教 材 | 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護〔3〕循環器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護〔5〕消化器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護〔7〕脳・神経 | | | | |
| 評価方法 | 【知識・技能】小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】定期考査、レポート課題、授業における発表、パフォーマンス課題、週課題、グループワーク 【主体的に学習に取り組む態度】レポート課題、週課題、グループワーク、看護科目確認テスト | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|-------------|------------------|---|----------|---|
| | 4 5 6 7 | 第6章 周術期看護の概論 第7章 手術前患者の看護 | 8 | 手術を受ける患者の状況について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 手術を受ける人やその家族が持つ問題について考え、その援助の必要性を見出そうと積極的に取り組んでいる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | | 手術前の具体的援助(インフォームドコンセントや術前検査・訓練の目的、オリエンテーション、手術当日の看護など)を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 手術室の環境について理解しているとともに看護師の役割について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 手術がもたらす生体侵襲の機序について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 麻酔の種類や麻酔導入時の看護、手術体位について理解すると共に、注意することやその援助について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| 4 5 | 4 5 | 第1部 成人の生活と健康 第1章 成人と生活 第2章 生活と健康 | 5 | 一人前の大人になっていく過程について、発達段階・発達課題を理解している【知識・技能】 |
| | | | | 各発達段階の特徴について考え対象を理解しようとしている。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 成人を取り巻く環境や生活の状況について知り、成人の健康について考え理解しようとする取り組むことができる。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| 5 6 7 | 5 6 7 | A 成人を取り巻く環境と生活からみた健康 1 成人を取り巻く環境と生活の状況 2 成人の健康の状況 | 7 | 成人期の特徴や生活環境から、考えられる疾患を理解しようとしている。【知識・技能】 |
| | | | | 生活習慣病について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | メタボリックシンドロームや高血圧、動脈硬化病態を理解し、予防や治療、生活指導について考えることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 生活習慣病の予防や生活指導についてグループワーク等で学ぼうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|-------------|---------------------|------------------------------|----------|--|
| 2 学 期 | 9 10 11 12 | 第8章 手術中患者の看護 第9章 手術後患者の看護 | 13 | 手術中の看護師の役割について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 術後の観察項目を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 術後に起こりうる合併症について理解し、合併症の予防や早期発見の必要性について理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 術後合併症の早期発見のための観察や予防方法についての知識をもとに、術後患者の安全・安楽に努めた援助を思考しようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | | 術後疼痛や創傷の回復過程を理解している。【知識・技能】 |
| | | | | 術後疼痛や創傷の回復を促す看護について科学的根拠をもとに述べる。【思考・判断・表現】 |
| | | | | ドレーンの目的や管理方法について理解し、援助の必要性について考えようとしている。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |

| 学期 | | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|---------|----------------|---|------|--|
| 2 学期 | 9 | 第5章 疾患の理解 B 虚血性心疾患 1 分類 2 安定冠状動脈疾患 3 急性冠症候群 第6章 患者の看護 E 疾患をもつ患者の看護 1 虚血性心疾患患者の看護 | 10 | 心疾患の疫学的背景とともに、生活習慣と虚血性心疾患について関連づけて理解しようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 狭心症と急性心筋梗塞の病態・検査・治療について理解している。【知識・技能】 虚血性心疾患をもつ患者の看護について根拠をもとに述べることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | 10 11 12 | 第5章 疾患の理解 C 心不全 1 病態とその分類 2 診断 3 治療 第6章 患者の看護 2 心不全患者の看護 | | 心不全の病態と分類、治療について理解している。【知識・技能】 心不全患者の看護について根拠をもとに述べることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 患者が抱く死の恐怖や、疾患をもちながら日常生活をおくる患者と家族に必要な援助について考察しようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(単元名) | 配当時間 | 評価規準 |
|----|------------------------|--|------|---|
| 3 | 1 2 3 | 第5章 疾患の理解 C 胃・十二指腸疾患 4 胃がん D 腸および腹膜疾患 10 大腸がん | 14 | 消化器疾患をもつ患者に必要な援助について、日常生活における食事・排泄と関連づけながら考察しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 胃がんの病態・検査・治療について理解している。【知識・技能】 胃がん患者の看護について根拠をもとに述べることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 大腸がんの病態・検査・治療について理解している。【知識・技能】 大腸がん患者の看護について根拠をもとに述べることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 人工肛門造設術を受ける患者の身体的・心理的・社会的側面について理解しようとする学習に取り組む、必要な援助について考えようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ストーマケアについて理解している。【知識・技能】 |
| | 1 2 3 9 12 | 第2章 脳・神経系の構造と機能 第5章 疾患の理解 B 脳血管障害 第6章 患者の看護 D 疾患をもつ患者の看護 第6章 患者の看護 B 症状・障害をもつ患者の看護 1 意識障害のある患者の看護 2 言語障害のある患者の看護 3 運動麻痺のある患者の看護 9 嚥下障害のある患者の看護 12 頭蓋内圧亢進のある患者の看護 後 | | 13 |



令和8年度 (看護) 科 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--|--------|---------|-------------|-----|--------|---------|
| 教科 | 看護 | 科 目 | 看護臨地実習 | 単 位 数 | 2単位 | 学 年 | 看護科 2 年 |
| 教科書 | | | 副 教材 | | | | |
| 評価方法 | <p>【知識・技能】【思考・判断・表現】実習への取り組み、グループワーク、提出物(事前学習課題、実習記録)、事前学習知識確認テスト、探求活動</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】実習への取り組み、探求活動への取り組み</p> | | | | | | |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|---------|----|-------------------|----------|---|
| 2 学期 | 12 | 基礎看護臨地実習オリエンテーション | | 提出期限内に学習課題を過不足なく提出し、事前学習課題においては教科書以外の文献も活用してまとめている。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | | 看護を学ぶ者として責任感と規範的意識をもって看護実習の準備に臨むことができる。【思考・判断・表現】 |

| 学期 | 月 | 学習内容(单元名) | 配当 時間 | 評価規準 |
|---------|----------------------------------|--------------|----------|--|
| 3 学期 | 1 | 基礎看護臨地実習 | 70 | 看護を学ぶ者として責任感と規範的意識をもって看護実習に臨むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | | 病院環境、病棟・病室環境について理解することができる。【知識・技能】 |
| | | | | 看護師が行う日常生活援助や診療補助場面に同行し、看護の役割について理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 対象者に必要な日常生活援助について、その必要性と根拠に基づいて計画することができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 援助課程における安全・安楽を考え、必要な観察や看護の援助を実践できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】 |
| | | | | 実践した日常生活援助について振り返り、自己評価をすることができる。【思考・判断・表現】 |
| | | | | 積極的かつ主体的に行動し、臨地における看護実践の基礎について自ら学び、よりよい看護を考えることができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | | | | 適切な挨拶・言葉遣い、身だしなみ、対象者を尊重した態度で行動することができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 時間を守り、必要な報告・連絡・相談ができる。【思考・判断・表現】 | | | |
| | | 基礎看護臨地実習事後指導 | | <p>実習内容を振り返り、対象者との関わり方や看護援助について考え、表現することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>実習内容を振り返り、臨地実習における課題を発見し、よりよい看護について探求することができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p> |